



# みなさん、はじめまして～理事長就任にあたって～

社会福祉法人アトム共同福祉会理事長 村田 和子

皆さん、はじめまして。新理事長に就任いたしました村田和子です。

市原悟子理事長の退任を受けて、バトンをつぎました。過日キテーネホールで開催されました法人設立20周年の際の閉会ご挨拶でも申し上げたことですが、改めて皆さんに着任のご挨拶をさせていただきます。

私は、現在65歳です。東京で生まれ育ちました。「三丁目の夕日」という映画の世界そのままに、近所にはたくさんの異なる年齢の子どもたちがいて、そして、おせっかいで、世話好きで、おもしろい人が周りにいた子ども時代でした。気が弱く、泣かされっこでした。子どもの頃から人間相手の仕事につくこと、福祉と教育を繋いで、地域を耕す人になりたい、女性差別のない社会にしたいと貝塚市公民館職員、さらに教育委員会で働き、子育てから老いに至るまで自分らしく生きる社会をめざして、社会と教育を結び人が育ちあう社会教育という仕事に携わってきました。その後、2008年からは和歌山大学の教育・研究職として働き、多くのご縁と出会い、人と地域に教えられ、この3月和歌山大学を定年退職いたしました。

これまで受けたご恩を次の世代に送りたいと願い、一市民としての生涯学習者を生きることを宣言して、一步踏み出したわが人生で、アトム理事長のお話をいただきました。これまでアトムについては、NHKスペシャルはもちろんのこと、刊行物をはじめ、市原悟子さん、山本健慈先生から長年に渡ってその実践をお聞きしてきました。野中泉園長も旧知の間柄です。みなさん魅力的で、心から尊敬し、信頼している方々です。ですが、保育者としての経験も皆無な私ができることは何も無いかもしれません。ただ、私には、新たな世界を知りたいという好奇心が人一倍あります。アトムが培い、みんなで大切にしてきたことをつかみとて、自分がよき学び手としてお手本にしていただけるよう、自分ができることを探り、社会に発信していきたいと思います。

理事長としてスタートを切る職員会議で私が間のあたりにしたのは、ひとつことをめぐって、すぐに賛成、反対を選択しない世界を大切にするということです。この日は、よくわからない、悩み中という問いかえの間にあるものを、個人のもやもやというレベルに押し込めるのではなく、徹底的に話し合って、理解しあい、共に解いていこうとする職員たちの姿です。これは、これまでのアトムが集団的に育んできた職員文化といつてもよいものだと思いましたし、「ともに」を表すひとつです。これは、実は、すべての事柄においてスピードや効率性が求められる現代社会にあって、ゆっくりと丁寧に人と向き合うこと、互いを人として受け止めあうこと、これこそアトムの保育実践の基盤をつくりだす営みだと感じました。

保育者・職員と保護者のみなさんが、サービスを提供する人、される人という関係ではなく、子育てを通じてともに育ちあう仲間として、地域社会、行政の皆様ともよき関係をつくりながら、これまでつくりだしてきた大切な宝を共に語り合い、確かめあいつつ、新しいアトムという未来の種を育てていきたいと存じます。

皆さんにも引き続きの支援とご協力、ともに歩んでいただくことをお願いして、理事長就任のご挨拶といたします。